

2006 年度

科目名	対象学科・学年 文学部日文 1 回生 文学部英米 1 回生 文学部文財 1 回生 人間人社 1 回生	担当者 小林 典子
西洋史学 B		
授業テーマ 近代的社会システムのルーツを考える		
授業の概要と目標 現代社会は、かつてヨーロッパが生みだした近代社会システムの遺産の上に築かれています。「ヨーロッパ近代」は、わたしたちの生活に、自由と豊かさという恵みをもたらし、日本人にとっては遠いあこがれの対象でありつづけています。けれども同時にそれは環境破壊など地球的規模の問題をかかえこんでいることも確かです。21 世紀の冒頭にたつ今、ますます「ヨーロッパ近代」の意味とその価値が問われることでしょう。ヨーロッパの歴史の流れを、とくに近代の三大現象（ルネサンス、産業革命、フランス革命）に焦点をあてて概観し、理解を深めます。		
評価方法 出席と授業への参加意欲や小レポート 40% レポート 60%		
テキスト 授業時に資料配布	著者	出版社
参考書 <ビジュアル版>『ヨーロッパの革命 二重革命の時代 ーフランス革命と産業革命ー』	著者 遅塚忠躬	出版社 講談社
授業スケジュール・内容 1 開講にあたって：授業プログラムとオリエンテーション 民主主義と人権思想はどのようにして生まれたのか ～フランス革命のプロセスをたどる～ 2 近代の誕生 3 近代の開幕 4 啓蒙の世紀 5 フランス革命の背景／アメリカ独立戦争 6 立憲王政の成立 7 民主的共和制の成立と革命の終焉 8 近代市民社会（ブルジョワの世紀） 9 産業革命 10 パリ万博と近代都市計画 11 「近代」がかかえる問題 12 現代の文化 アメリカ文化と現代 13 21 世紀に入ってさまざまな実験 14,15 まとめ		